

2023年度 BASE 保護者向け 自己評価表（児童発達支援）（回答）

	はい	どちらともいえない	いいえ	
①子どもの活動のスペースが十分に確保されていますか	4	0	0	普段の活動の様子をみる ことがあまりないのでわ からない
②職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	普段の活動の様子をみる ことがあまりないのでわ からない
③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	0	
④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	4	0	0	
⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	記録ノートにはない情報
⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	4	0	0	
⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができて いるか	4	0	0	
⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	
⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	2	
⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	
⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	
⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	
⑭個人情報に十分注意しているか	4	0	0	
⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	1	0	
⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行えているか	3	1	0	

⑰子どもは通所を楽しみにしているか	3	1	0	
⑱事業所の支援に満足しているか	4	0	0	

2023年度 BASE 保護者向け 自己評価表（放課後等デイサービス）（回答）

	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	
①子どもの活動のスペースが十分に確保されていますか	7		1	0	人数によっては狭いかもしれませんが、ケアしやすいように思えます。
②職員の配置数や専門性は適切であるか	8		0	0	
③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8		0	0	
④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	8		0	0	
⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8		0	0	
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0		7	1	わかりません。
⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	8		0	0	
⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8		0	0	
⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7		1	0	
⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		7	0	わかりません。
⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		0	0	
⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8		0	0	
⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8		0	0	
⑭個人情報に十分注意しているか	8		0	0	
⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7		1	0	いつも最新の情報をありがとうございます
⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6		2	0	
⑰子どもは通所を楽しみにしているか	8		0	0	
⑱事業所の支援に満足しているか	8		0	0	成長期、何か変化についてアドバイス頂けたら嬉しいです。

2023年度 スタッフ向け 自己評価アンケート（回答及び検討内容）

	はい	いいえ	意見と検討内容
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	<p>布団を利用する利用者が多くなるて手狭に感じる。 →荷物の置き方、布団の敷き方の工夫、放課後利用の利用者が多い時などは朝からいる児童発達支援、生活介護の利用者に座位をとっていただくようにする。</p>
②職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	<p>これから産休で抜けられるスタッフはおられますので一時的に人員が少なくなるかと思いますが、積極的に人員補充していただいていると感じます。今後はPT・OTの増員が望ましい。職員の配置数に関しては数で見ると適切だと感じるが何か起こった時に回せるかは、医療的ケアの利用者が多い日は不安な日がある。 →セラピスト中心に求人を実施中。また、セラピストや児童指導員に喀痰吸引研修を受講してもらい、医療的ケアに対応できる人員を増やす。医療的ケアのできない職員でもできる手伝いを明確にして、振れることは振っていく。</p>
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2	<p>施設内の構造や情報伝達のための道具は特に過不足なく、またスタッフの意識的な面でも利用者さんにとって快適に過ごしていただくことを考えていると感じています。 →業務伝達用のアプリを使用している</p> <p>今できる可能な範囲であると思うが欲を言えばお風呂場や床が硬い部分があるなどある。 →やわらかい床の上で車いすを走行させると床が傷むので現在の長尺シートのみとする。動ける利用者さんはできるだけマット状で活動をしよう。</p>
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2	<p>常に清潔で整理整頓を意識してはいますがスペースと備品や道具が収まらないことも多々ありましたが、設置場所や収納場所をしっかりと分けしてから以前より利用者さんやスタッフにとって快適に活動出来る場になったと感じています。 →現在の整理整頓を普段から継続していく</p> <p>自力で座位がとれて体動がある利用者が3人利用の際などに、ファンシーゾーンのような安全な場所がもっと欲しいと感じることがある。 →自力移動可能な利用者さんがいるときの布団の配置などを工夫して安全に利用できるようにする。</p>
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2	<p>空いた時間には会議をしたり、考える時間を設けたりしている。より一層考える意識をもつ必要性は感じる。</p> <p>重要な事項やヒヤリハットの共有などは、朝礼、朝の会、昼の会でスタッフ全体に共有している。</p>
⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	<p>保護者向けの評価表だけでなく、普段から利用者さん側の意見をスピーディーに取り上げて改善していく流れや話し合いはしていると思います。 →全体的に高い評価をいただいているが、それに慢心せず常に利用者さんや保護者さんの声を傾聴していく。</p> <p>評価表を見ていない。</p>

<p>⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p>	6	3	<p>自分が知らないだけなのがホームページなどを見る限りちょっとわからない。 ➡ホームページのどこにあるかわかりやすいように掲載場所を検討する。</p> <p>会報は今ではストップしている状態だと思うので。 ➡会報「Rosetta通信」は前管理者が中心となって作成していた。次期担当者を選出するか、毎月行っている「活動写真」に他の内容(職員の入退職など)を入れていくようにする</p>
<p>⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p>	5	4	<p>外部評価は現在実施していないが、実地指導ではおおむね健全な運営状態といわれている。今後外部調査の導入も検討していく</p>
<p>⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p>	9	0	<p>研修などを通達したりはよく見る。機会の確保となると業務時間内での実施じゃないこともあり、確保との表現的には合っているかは微妙。</p> <p>➡現在は研修案内や、全員必修のWEB研修の実施にとどまっている。今後面談などを通じて各スタッフに必要な研修などを受けられるようにしていきたい。</p>
<p>⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか</p>	9	0	<p>実施できている</p>
<p>⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p>	7	2	<p>重症心身障害という多様な状態の利用者さんを対象としているので標準化したアセスメントツールを使用するのは困難だが、発達に応じて適切なアセスメントを実施している。</p>
<p>⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p>	8	1	<p>主に発達支援と家族支援がメインになっているが、地域支援として防災や地域活動への参加など柔軟に参加できるようにしていきたい。</p>
<p>⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか</p>	8	1	<p>定期的にミーティングを行い、事前に計画をたてて周知や実行をしています。</p> <p>➡日々の活動の実施目標の達成度合いの把握が今後の課題</p>
<p>⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか</p>	9	0	<p>週ごとに違うプログラムで活動内容を変えています。あと、季節にちなんだ制作や体験をしていただけるように心がけています。</p>

<p>⑩子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか</p>	8	1	<p>計画作成はできていると思いますが、これからの課題として集団での活動を時間が許す限り取り入れていきたいと感じています。</p> <p>→集団での活動を実施する時間の確保が課題。現状は放デイの長期休みの時などに実施することが多い。</p> <p>集団活動に関しては明確にわかりにくい利用者もいる。</p> <p>→利用者さんの障害特性ごとにわかることができるように活動内容及びかかわり方を工夫する</p>
<p>⑪支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p>	8	1	<p>朝の職員ミーティングや利用者さんが来てからの朝、昼の会で確認できています。</p> <p>→可能な限り直接での打ち合わせをしたいが、非常勤さんなどいるので、打合せ結果をアプリで共有して見える化している。</p>
<p>⑫支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</p>	5	4	<p>スタッフの退勤時間が違うのでその日の最後に振り返りをするのは難しいですが、翌日の朝のスタッフミーティングで振り返りをしています。</p> <p>→重要なことは当日アプリで共有(業務時間外の場合は通知が行かないように設定している)している。</p>
<p>⑬日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</p>	7	2	<p>その日のケア、リハ、活動の内容を文章で書き伝える努力をしています。ですが忙しさの中での記入漏れがあるのも事実で、それをチェックする流れをもっと意識していきたい感じます。</p> <p>→送迎時間までにすべてを記録するのが時間的に困難。今後は記録の電子化をしていくことで書き忘れた内容もあとから追記できるようにできるよう検討。</p> <p>午後空白になっていたり、書くのを忘れてることがあります</p> <p>→行った支援を記録していないのは何もしていないのと同じであるということスタッフ間で再度共有する。</p>
<p>⑭定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか</p>	8	1	<p>深く把握しておらず評価しにくい。</p> <p>→個別支援会議に参加しにくいスタッフにも内容を共有できるよう検討する。</p>
<p>⑮障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか</p>	8	1	
<p>⑯母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか</p>	8	1	<p>支援の内容がどれを指すのか把握しておらず、評価難しい。</p> <p>→他のデイサービス、訪問看護やヘルパーステーションとの連携や保護者との会話も含まれる。今後は意識して関わっていきたい。</p>
<p>⑰(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか</p>	8	1	<p>保育所や学校からの連携が内容が密あるかと言われると後から知る情報もあり、連携できているか言われれば違うような気がする。</p> <p>→コロナも終わったので学校や保育所、幼稚園への見学など積極的に行うことを検討していく。</p> <p>もう少し深く連携できるとより良い支援ができると思います</p> <p>→深い連携が何を指すのかはわからないが、連携を進めていく。</p>

⑳(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	1	基本的には親御さんを通しての連絡となっているように思います →主治医とのコミュニケーションは支持依頼を通じてのやり取りと保護者を通じての連絡がほぼ。保護者を通さずに主治医と連絡をとることは抵抗があるため。一部SNS(MCS等)でつながっている。 協力医療機関との連絡は随時行っているほか、月に一回訪問して利用者さんの情報を共有している。
㉑についてのご意見	0	0	
㉒移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	移行事例はなく、同時通園を推奨している。
㉓移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	移行事例はなく、同時通園を推奨している。
㉔他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	自分がどういう内容なのか、いつ頃実施してるのかなどは把握してない部分あり。 →リハビリ内容等の共有をアセスメント記録として残している。
㉕保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6	ロゼッタが実施してるかはと言われればしてない 他の施設や障害の有無にとらわれずに活動や交流ができれば素晴らしい体験ができると思います。機会を待つのではなく、色々こちらから発信できるように動いていきます。 ⇒今後検討していく
㉖(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	5	自立支援協議会への参加はできていないが、父母の会、宝塚市放課後等デイサービスネットワークなどへの参加をしている
㉗日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	状況や課題の把握は対面や通信機器などで相互に伝達、相談できていると感じています。
㉘保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	3	自宅で実施可能なリハビリプログラムや排痰姿勢など案内はしている。

⑳運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	
㉓児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	
㉔定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	
㉕父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	<p>普段の保護者への連絡、相談、支援などは丁寧に行っていると思いますが、保護者同士の連携や「会」としての機会が設けられているのかは一考の余地があると思います。活動の展示会など保護者同士やスタッフとの交流の場をもっと増やしていければと感じます。</p> <p>→会として設けていないのは、すでに保護者通しで横のつながりができているからこれ以上は必要ないと判断したから。</p>
㉖子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	
㉗定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	<p>活動の作品展が今年から開催されるので作品の即時返却ができない代わりに定期的に活動している姿を見ていただけるようにプリントを配布しています。</p>
㉘個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	
㉙障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	<p>今年から開催される活動の作品展では地域の方や他の事業所の方など多方面に発信できればと考えています。</p>
㉚事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	<p>事業所の行事自体が行われていない。今後お花見など値域と交流できるイベントを進めていく</p>
㉛緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	2	

④②非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	3	防災物品の備蓄は随時実施している。 訓練は年に二回実施している。
④③事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	インテーク面接時に状況を確認をしているほか、年に一回状況に変更がないか確認をしている。内服に関しては内容が変わるたびにお薬手帳を持ってきていただくようにしている。
④④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	
④⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	ヒヤリハットに至らない事例も「おっとっと」として共有をして、ミーティングでの安全委員会で共有をしている。
④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	年に4回の虐待防止委員会と虐待防止の研修を実施している。
④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	0	年に4回の身体拘束適正化委員会で各事例について検討し、必要な場合は個別支援計画に位置付け、保護者に説明と了解を得たうえで同意を得ている。